

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	近隣センター等管理			事業番号	215-012
担当部署名	南区役所	局		部	自治推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 21 年度	点検年度	令和 5 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各区、地域団体・市民
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	校区自治連合会(4校区)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	「泉北ニュータウン再生指針」を踏まえ、地域が主体的に再生に向けたまちづくりに取り組めるよう支援することを目的とする。(南区の地域コミュニティ活動を側面から支援)
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	大阪府より引継いだ泉北ニュータウン近隣センター資産のうち自治会活動への支援となる公有財産の貸付、維持管理を実施。また、泉北ニュータウン再生府市等連携協議会及びその他ワーキンググループに参加し、大阪府やニュータウン地域再生室を中心に、相互に連携して取り組むべき事項について協議し、具体的な方策を検討。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	校区自治連合会 (無償貸付)
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度 令和5年度
11 資産の有効活用	件	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	4		
		達成率	100%	100%		
		当該指標を選定した理由	地域が主体的に再生に向けたまちづくりに取り組めるよう支援することを目的として、近隣センターに係る財産の貸付を継続的におこなうため。			
目標値の設定根拠・算出方法	近隣センターに係る財産の貸付件数					
12 地域コミュニティ活動推進	件	目標値	4	4	4	
		実績値	4	4		
		達成率	100%	100%		
		当該指標を選定した理由	コミュニティ機能の核となる近隣センターに係る財産について、貸付を継続的におこない地域コミュニティ活動推進に寄与するため			
目標値の設定根拠・算出方法	近隣センターに係る財産の貸付件数					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	近隣センター等管理	事業番号	215-012
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	35	1,686	11,750	10,507	2,450
13 財源内訳	国支出金			990	
	府支出金				
	市債				
	その他 (泉北丘陵地区整備基金繰入金)		253	11,700	2,400
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	35	1,433	50	9,517	50
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,675	3,306	13,390	12,147	4,090

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源	
								普通旅費
	R3 予算	5	0	R3 予算	50	0		
16 事業費内訳	消耗品費	R2 決算	22	22	施設等管理委託業務	R2 決算	774	774
		R3 予算	35	0		R3 予算	2,000	0
	印刷製本費	R2 決算	0	0	有料道路通行料	R2 決算	0	0
		R3 予算	10	10		R3 予算	10	0
	電気使用料	R2 決算	33	33	施設等改修工事	R2 決算	8,642	8,642
		R3 予算	40	40		R3 予算	0	0
	施設等修繕料	R2 決算	0	0	自治会館感染症対策工事	R2 決算	990	0
		R3 予算	300	0		R3 予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 資産の有効活用	件	4	4
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,306	12,147
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	826,500	3,036,750
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度は、自然災害により突発的に発生した大規模改修工事の影響で経費の増加がみられたが、それ以外の経費は前年度とほぼ同額であり、慢性的な経費増ということではなく、効率的に目的は達成できたと考える。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の実施手法等に変化がある中、地域コミュニティ活動を支援し、引き続き、泉北ニュータウン再生に係る地域ニーズの把握、地域住民、団体との調整を行い、コミュニティ機能の核となる近隣センター機能回復等に寄与することは不可欠である。また、施設の老朽化への対応も必要である。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>近隣センターは、地域コミュニティ機能の核となるものであり、地域が主体的に再生に向けたまちづくりに取り組めるよう側面から支援することで地域住民のつながり強化に寄与した。</p>
----	--